# PandA コースサイトでの受講者との連絡やりとりの方法

PandA の機能を利用して、それぞれの授業コースサイトで受講者と連絡事項(課題提出を除く)をやりと りする方法についての文書です。

- 教員から受講者への(1 方向の)通知
- 受講者と教員の間の双方向の連絡(相談受付など)

のおおきくふたつに分けて解説します。

!!注意!! 受講者が PandA コースサイトを閲覧・利用可能となるのは受講希望者が KULASIS で(仮)登録 をおこなった翌日となります。(混雑時はそれ以上のこともあり。)したがって、履修登録確定前は KULASIS での登録者と PandA コースサイトの参加者は必ずしも一致しませんのでご留意ください。

## 教員から受講者へ通知する

教員から受講者へ一方向で通知するには、サイトコースのホームページに表示される「サイト情報表示」 と「お知らせ」を利用することをお奨めします。

● 「サイト情報表示」

学期を通して表示すべき内容や、特に重要なお知らせを掲示するのに適しています。

「お知らせ」

お知らせ一般(開講案内・講義資料の追加など)の通知に適しています。お知らせ掲示と同時に同じ内 容を受講者全員にメール通知することも出来ます。

PandA		
マイワークスペース 💙 [202 [2020前期: 100	0前期会会会議議会 > [2020前期的准備部署 議議会会 > * [2019前期金4]計算機科学 > 他のサイト >	次のロールでサイトを表示: × 🞗 ログアウト   Log out
ホーム 🍙 スケジュール 📰 お知らせ 🗐 リソース 👯 成績簿 🛐 サイト情報 🗾 ダッシュボード 🚍 統計情報 🌲 ヘルプ 🏆	[2019前期金4]計算機科学:サイト情報表示	[2019前期金4]計算機科学: 最近のお知らせ
		<ul> <li>◆ [2019前期金4]計算機科学: カレンダ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>

#### 「サイト情報表示」を編集する

1. サイト情報の編集アイコンをクリックします。



## 2. 表示内容を編集します。

- ▶ Word と似たような操作方法で箇条書きや文字の装飾等も行うこともできます。
- 学部と大学院の乗り入れ科目などで複数のコースサイトを統合している場合は、冒頭に 学部科 目名/大学院科目名のように表示を変更し、共通コースサイトであることを明記しておくとよい でしょう。(下図でマーカーラインした部分)
  - ✓ 表示の最上部 [20XX〇期〇〇]授業名: サイト情報表示 の部分は変更できません。

ホーム 🛕	[2019前期金4]計算機科学: サイト情報表示 🛛 📓 📟 🚇
ジュール 🔳	サイト情報表示をカスタマイズ
お知らせ 📕	* タイトル サイト情報表示
リソース 🛃	フレームの高さ 1200 ピクセル ~
成績簿 📮	説明
	O y-ス   B     X    B     B     B     B     B     B     A     C
イト情報 🍠	
ュボード 🔳	
統計情報 ы	
ヘルプ <b>?</b>	スタイル ▼ 書式 ▼ フォント ▼ サ ▼ ▲・ ▲・ ▲・ ■
	[2019前期金4]計算機科学/計算機科学B
	理学部科目「計算機科学」・大学院科目「計算機科学B」の共通コースサイトです。
	本PandAサイトでは一部の資料を電子的に公開していく予定です。
	• 電子資料は「リソース」に配置します。
	○ 授業中に配布したすべての資料を公開するわけでは
	ありません。何を電子配布するかは教員が次のよ す。リクエストをいただいても必ずしもご要望にお
	応えできません。
	• 一部の資料に関しては電子配布をもって紙の配布に代えさせても
	らいます。
	4
	tt イト 情報 LIRI
	オブションを更新 キャンセル

編集エリアが小さくて編集しに くいときは、エリア拡大のアイコ ンをクリックします。編集が終わ ったら同じアイコンをクリック してこの画面に戻ってきます。

3. 「オプションを更新」をクリックして表示内容を確定します。

## 「お知らせ」を追加・同時にメールを送信する

PandA 公式ガイドブック(教員用) 18 ページ 「お知らせツール」の解説も参照ください。 http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/lms/panda/pdf/panda\_guide\_2017\_3.pdf

1. 「お知らせ」ツールを選択し「追加」をクリックします。

ホーム 🛕	▶ [2019前期金4]計算機科学:お知	lらせ				ශ බු
ケジュール 📃	1 追加 マージ 順序変更 オプション	権限				
お知らせ	お知らせ (過去 365 日間のお知らせを表示)					
リソース 🛤	表示すべて、				4件のうち1-4	件目を表示
成績簿					< < 10 件ずつ表	示 ~ > >
	件名	保存者	修正日時	対象 開	開始日時 終了日時	削除操作
サイト情報 🍠	レポート 運	Million Ann	2010/07/17 15:24	#7 k		

2. 通知の件名と本文を入力します。

	☆ [2019]
	お知らせを投稿
षाठेस 🔳	フォームに入力し,一番下の適切なボタンを選択します.
ソース 🔝	*は必須アイテム
成績簿 🖪	* 件名 000学開講
	* 本文
ト情報 🗲	O マース 目 X G G G G G G G G A → Q G F Ix     E = # # 99 U
ボード 🔳	
计信報 💼	スタイル ・ 標準 ・ フォント ・ サ ・ ▲・ 〇・ 話 副
ヘルプ?	○○○学は4月3日(金)に開講します。
	開講までにPandA授業コースサイトの内容を確認し、初回講義資料をダウンロードしておいてください。



● マカサイトカインパギリメマカかかとせき 明時日代

- 3. 続けてこのお知らせ事項の通知設定を行います。
  - ◆ 利用可否 (いずれかひとつを選択)
    - ◆ 表示 お知らせをすぐに公開します。(通常はこの方法)
    - ◆ 日時を指定 お知らせを公開したい日時を指定して投稿します。
    - ◆ 非表示 現在入力中のお知らせを一時保存してあとで編集・公開します。
  - ◆ **電子メール通知** (いずれかひとつを選択)
    - ◆ 高い・すべての参加者 PandA コースサイトのお知らせ欄に公開するのと同時にコース サイトに登録している全受講者にメールを送信します。(オンライン開講中は連絡漏れを防 ぐためメール送信したほうがよいでしょう。)
    - ◆ なし メールは送信しません。PandA コースサイトのお知らせにのみ表示されます。

アクセス		
● このサイトのメンバだ	けがこのお知らせを閲覧可能	
〇 このお知らせはインタ	ーネットから誰でも閲覧可能	
○ このお知らせは選択し	たグループだけが閲覧可能	
利用可否		
<ul> <li>      ● 表示 - (投稿し, このお   </li> </ul>	知らせを今すぐ表示する)	
✔ ○ 非表示 - (下書きモード	で,このお知らせを表示しない)	
○ 日時を指定 - (日時を通	んでこのお知らせを表示)	
添付		
添付はありません		
添付を追加		
電子メール通知	高い - すべての参加者	~

4. 「お知らせを投稿」をクリックすると受講生に公開されます。

!!注意 お知らせをメールで送信するように設定している場合は受講者に即座にメール通知されるので、再送信による混乱を防ぐため内容に間違いや以下のような不具合がないかよく確認しましょう。

- ◆ 通知内容に PandA コースサイトに関する指示や案内が含まれるときは、受講者がメールで通知 を受け取った場合でも意味が通るように、科目名と PandA コースサイトへのアクセスを明記す る。
  - NG 「講義資料をリソースからダウンロードしてください」
  - OK 「講義資料を〇〇学 PandA コースサイトのリソースからダウンロードしてください」

### 受講者と教員の間の双方向の連絡

受講者からの質問や相談の受付など、双方向のやりとりを行いたいときの方法をいくつか紹介します。

#### 電子メールでやり取りを行う

普段使っている電子メールで連絡を取り合うことはもちろんできます。

その場合コースサイトのサイト情報を前述の方法で編集して、教員のメールアドレスを掲載しておきます。

- 通常の設定では、コースサイトに記載した電子メールアドレス等の内容は受講者のみから閲覧可能
   で、第三者が直接参照することはできません。
- 受講生に対しては、メールで連絡を取るときは 受講授業名・氏名・所属と学年・学生番号 をメッセ ージ中に明記するように注意喚起しましょう。(学生は SNS 等の身元が自動表示されるツールに慣 れているので、メールに自分の名前すら書かない人が一定数存在します。)

### PandA コースサイトを介してやり取りを行う

メールでのやり取りでは、特に受講者が多数の場合や担当授業が複数あるときの対応が大変になります。

- ✓ 学生が名乗らない(上記)
- ✓ 学生からのメールが他の業務のメールメッセージとごちゃまぜになってやってくる。(どちらかを優先して処理している間に他方への対応が遅れる→そのうち失念する)
- ✓ やり取りが何往復かする場合、過去のメールとの対応付けが面倒。

PandA のコースサイトでのやり取りは、学生の身元は常に明らかで、過去のやり取りも自動で記録・整理されています。また、PandA コースサイトを定期的に確認するようにしておけば他の業務のメールとごちゃまぜに対応する必要もなくなります。(PandA ツールによっては、学生からの連絡の通知をメールで受け取るように設定できます。)

PandA には学生からの通知を受け付けるようなツールが複数あってどれを使うのがよいかは悩ましいのですが、ここでは

- 連絡のやり取りは教員と各学生の1対1に限定され、連絡内容の秘密が保たれる。
- 連絡内容の履歴が学生毎に個別に記録される。
- (教員の選択によって)学生からの連絡があったことを知らせるメール通知を設定可能。 の三点をみたす方法を紹介します。

(次ページに続く)

#### 課題ツールを使って双方向のやり取りを行う

(本来意図した使い方からは外れますが)PandA 課題ツールを以下のように使うことによって、受講生からの質問事項等について回答のやり取りを、学生毎に行うことができます。

!!! この方法で受講者とやり取りをするときは、質問の方法を「サイト情報」等に明示してください。

質問等は「課題」ツールから「教員への相談」で相談事項を提出してください

のように。

#### 課題ツールで質問受付を設置する

1. 次の文書の指示 <u>PandA による課題提示方法.pdf</u> に従って、課題ツールで新しい課題を作成し ます。ただし、設定等は以下のように変更します。

- **タイトル** 教員への相談 (もしくはなにか相応しい表題)
- **公開日時** 開講日より前
- 締切日時 次の学期の前日くらい
- 許可されている提出回数 無制限
- 採点方法 採点しない
- メールによる提出物の通知 一日ごとにまとめた通知をメールで送る
  - ◆ 提出に早く対応したい場合は「各受講者の提出物についてメールによる通知を送る」を選択
- 2. 課題説明の文章を入力します。以下に例文を示しますので適宜編集して使ってください。

#### !!!これは課題ではありません!!!

「〇〇学」の受講に関して、どこに相談したらよいかわからない事項、他の履修者に知られたく ない相談事項があるときに質問事項を書いて提出してください。

2度目以降の質問では、前回の質問事項が残っていることもありますので、混乱を避けるため 過去の質問は削除して新しい質問を入力してください。

- 3. 内容を確認して「公開」で課題を保存・公開します。
- 4. 学生に質問方法を周知します。例えば、サイト情報を編集して以下のように告知します。

「〇〇学」の受講に関して、どこに相談したらよいかわからない事項、他の履修者に知られたく ない相談事項があるときは、「課題」から「教員への相談」を選択して、質問事項を書いて提出 してください。

### 課題ツールで質問に回答する

- ●講者から質問があると、それを通知するメールが届きます。
   ◆ メールの宛先は大学の教職員メール (Gmail)アドレスです。
- 2. こちらの文書 PandA による採点ガイド (Word ファイル、TA 用ですが教員の操作方法も同じです) に従い、授業サイトの「課題」から「教員への相談」で「採点」を選択して、質問に回答します。
  - ◆ 成績評価をしない課題として設定しているので、点数等を入力する必要はありません。
  - ◆ 質問への回答をひとつ入力し終わる毎に「保存して学生に公開」をクリックして入力を確定す るのを忘れないでください。

 $\diamond$ 

## その他の PandA ツールを使った受講者とのやりとり

上記の他にも PandA は受講者とのやり取りを行うためのツールをいくつか提供しています。 ここではそれらの紹介だけに留めます。詳しくは PandA 公式ガイドブック http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/lms/panda/pdf/panda\_guide\_2017\_3.pdf を参照してください。

- フォーラム (公式ガイドブック 34 ページ)
   設定したテーマについて、教員と学生が意見を交換したりすることができます。ただし、基本的に 個々の発言は参加者全員が閲覧できます。
- 提出箱(公式ガイドブック38ページ)
   学生が提出物ファイルを教員に提出するためのツールです。基本的に「課題」ツールから採点や締切の機能を省いたものです。(機能が一部重複しているように思えます。)
- メール (公式ガイドブック 20 ページ)
   受講者全員もしくは個別にメールを送出するためのツール。(「お知らせ」と機能が一部重複)